

第6回 不登校・ひきこもり支援者研修会

I 『不登校・ひきこもりの家族コンサルテーションの基礎』

NPO 法人メンタルコミュニケーションリサーチ 理事長 齋藤 暢一郎

II 『長期化・年長化したひきこもる人への支援

-ひきこもりの理解・多様な支援手法・支援のマネジメント-

日本福祉大学 名誉教授 竹中 哲夫

III 『ブレインスポッティング入門』

BRAINSPOTTING training institute JAPAN 代表 鈴木 孝信

近年、不登校件数は増加し、ひきこもりは長期化・高齢化しています。
本研修会では、前半に不登校・ひきこもり支援の知識と技術を深め、後半はひきこもり支援にも有用な
トラウマケア技法のブレインスポッティングについて学んでいきます。

研修会 概要

日本臨床心理士資格認定協会のWS研修機会申請予定

日時

2019年 3月31日 (日)

10:00-16:00 (9:30 受付開始)

プログラムⅠ 10:00~

プログラムⅡ 11:15~

プログラムⅢ 14:00~

会場

セッション杉並 第10集会室

住所：東京都杉並区梅里1-22-32

(東高円寺駅から徒歩5分)

定員

40名程度

対象

臨床心理士・支援者、大学院生

参加費

事前申込 5,000円 (3月11日締め切り)

一般申込 6,000円

大学院生 2,000円

申込方法

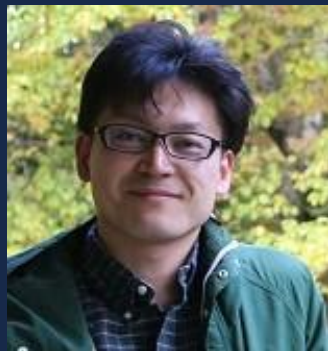
当団体の事務局までメールにてお申込みください。メールの件名に「3月31日研修申込」、
メール本文に①名前、②所属、③電話番号、④メールアドレス、⑤臨床心理士番号を
ご記入の上、お申し込みをお願いいたします。



齋藤 暢一郎

SAITO CHOUICHIRO

『不登校・ひきこもりの家族コンサルテーションの基礎』



NPO 法人メンタルコミュニケーションリサーチ理事長、北海道大学学生相談総合センター講師。心理学博士（首都大学東京）、臨床心理士。

主に不登校・ひきこもり支援を専門とし、特に長期化事例に対して家族介入と訪問支援によるアプローチ方法を研究している。

著作『ひきこもりの心理支援 心理職のための支援・介入ガイドライン（分担執筆）』（金剛出版 2017年）、『小児科診療ガイドライン-最新の診療方針-[第2版]（分担執筆）』（総合医学社 2011年）、『小学校スクールカウンセリング入門（分担執筆）』（金子書房 2008年）など、その他多数。

竹中 哲夫

TAKENAKA TETSUO

『長期化・年長化したひきこもる人への支援

-ひきこもりの理解・多様な支援手法・支援のマネジメント-』



1965年～京都市青葉寮心理治療員、京都市児童相談所心理判定員・児童福祉司、1982年～日本福祉大学教員、2009年日本福祉大学退職。

現在、日本福祉大学名誉教授、日本福祉大学心理臨床相談室研修指導員、臨床心理士。

著作『ひきこもり支援の着眼点・着手点-長期化・年長化するひきこもり支援充実のための試論-』（光陽出版社 2018年）、『子ども・若者支援地域協議会のミッションと展望（相補版）長期・年長ひきこもりと若者支援地域ネットワーク』（かもがわ出版 2016年）、『ひきこもり支援論-人とつながり、社会につなぐ道筋を作る-』（明石書店 2010年）、『ひきこもり・ニート・不登校の支援-健康心理学と社会的支援の視点から-』（三和書房 2006年）など、その他多数。

鈴木 孝信

SUZUKI TAKANOBU

『ブレインスポッティング入門』



BRAINSPOTTING training institute JAPAN 代表、トラウマ療法・ブレインスポッティングの国際トレーナー。パニック障害完治を目指すレニハン認知療法の日本唯一の実践者。マインドフルネスの治療者であり実践者。

ケンタッキー州立大学（学士）、マサチューセッツ州立大学（修士）修了。アダムス州立大学（博士）所属。東京多摩ネット心理相談室を2010年に設立し代表を務める他、医療法人和楽会赤坂クリニック／横浜クリニックにて勤務。

著作『ブレインスポッティング入門（翻訳）』（星和書店 2017年）、『マインドフルネスのはじめ方（翻訳）』（金剛出版 2017年）、『ぐっすり眠れるドクター レッスンノート』（講談社 2012年）など。

NPO 法人メンタルコミュニケーションリサーチ（MCR）とは

2000年設立。臨床心理学をもとにした不登校・ひきこもりの家族支援、訪問支援を行う。

その他、長期ひきこもりの家族向け専門プログラム、EMDR等のトラウマケアカウンセリング、都立高校との連携活動、地域貢献活動等に従事。

